

必ずお読みください 液晶ディスプレイ

レシート・納品書は本書に貼って保管してください

修理の際には、購入日・型番の証明（レシート・納品書など）が必要です。
レシート・納品書などは、本書に貼り付けて大切に保存してください。

レシート・納品書 貼付位置

本製品の説明について

本製品の設置や設定の説明やアフターサービスなどについては Web 上の詳細ガイドでご案内しています。詳細ガイドは以下の方法でご覧いただけます。

●スマホ・タブレット

- ① 本製品のボタンを押し、メニューを表示する
- ② メニュー内に表示される QR コードを読み込む
- ③ 開いた Web ページから『詳細ガイド』を開く

本製品のメニューを表示できない場合

正しく起動しない場合は、よくあるお問い合わせをご覧ください。



●パソコン

- ① 弊社『サポートライブラリ』にアクセスする
サポートライブラリ <https://www.iodata.jp/lib/>
- ② 商品名で検索して、お手持ちの商品のページを開く
- ③ 『詳細ガイド』を開く

設定などの詳細説明、本製品の仕様については
Web ページよりご確認ください。



使用上の注意

■取り扱いについて

液晶パネル（画面）を押さえたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因になります。



■設置箇所について

高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくとう液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラツいたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品（バックライト、アルミ電解コンデンサーなど）が含まれています。
- 有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なります。

■連続使用について

本商品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計しており、24時間連続使用を前提とした商品ではありません。有寿命部品の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご使用は避けてください。

■その他

- 直射日光が当たる場所で使用・保管しないでください。変形や変色の原因になります。
- お使いにならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 液晶パネル上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.999%以上の有効画素と 0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障、あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

【VCCI 規格について】

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。


注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。


▼ 絵記号の意味


 禁止


 指示を守る


警告


 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。


 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。


 本製品をぬらしたり、水気が多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
●特にお風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺では使わない
●水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗かない
●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない


 添付の電源コードは、他の機器につながらない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。


 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。


 じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。


 液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。
●液体が目や口に入った場合：すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。
●皮膚や衣服に液体が付着した場合は：すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。


 電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。


 ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがある場合にはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。


 本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。


 梱包用のビニール袋や小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。


 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。


 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。


 AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない
発熱、発火の原因になります。


 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。


 接地接続について以下を守る
接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

 コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。


 高所に設置しない
万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。


 故障や異常のまま、つながらない本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。


 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。


 テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用し、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

■ 電池について [リモコンを添付している場合]


 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す
漏れた液に引火し、破裂、発火の原因になります。漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。


 電池の液が漏れたときは触れないようにする
電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
●液が目に入ったとき：目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水でよく洗い、直ちに医師の診察を受けてください。
●液が体や衣服についたとき：すぐに水道水などのきれいな水でよく洗い流してください。


 電池を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。


 電池について、以下のことに注意する
故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。
●指定の電池以外は使わない
●火の中に入れて、加熱したりしない
●直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しない
●(+) (-) を逆にセットしない
●(+) (-) を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わない
●ネックレスやヘアピン等の金属と一緒に持ち運ばない
●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止める
●容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない
●電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出す
●電子レンジや高压容器に入れない
●水、海水、ジュースなどでぬらさない
●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
●電池を充電しない


注意


 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさと周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

 ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないように気をつける

 以下のような場所で保管・使用しない
けがや故障の原因になります。
●振動や衝撃の加わる場所
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO_x など）

 液晶パネルの表面を傷つけない
●画面を強く押ししたり、衝撃を与えたりしない
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
●画面を先のとがった物で押さない
破損や故障、けがの原因となることがあります。
●硬いものでこすったり、たたいたりしない
破損してけがの原因となることがあります。

 電源を入れた状態で、おお向け、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。

 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。